

3. 子どもたちを取り巻く生活環境に関すること

(2) 総合型地域スポーツクラブへの移行

【 事例12の特色 】

都賀町「小学生スポーツクラブ教室」では、各小学校区ごとに子どもたちが地域の人と一緒に遊んだりスポーツ・文化活動を行うことで、自発的に行動できる子どもの育成と地域のつながりや世代間交流を推進している。これは、「あそこに行けば必ず誰かがいて一緒に遊べる」という子どもの居場所づくりと将来の総合型地域スポーツクラブへの発展を見据えた事業であり、毎週土曜日10時から11時30分の間各小学校を会場に実施している。特にスポーツ少年団等に所属していない子どもにとっては、意欲的に参加できる活動の機会となっている。（事例12参照）

(3) 子どもたちの興味・関心に応じた多様な事業への参加促進

宇都宮市立清原東小学校「清原東子ども土曜クラブ」では、各スポーツ少年団が同じ日に活動の休みの日を設け、毎月第2土曜日に野球・サッカー・バレーボール・バスケットボール部の各スポーツ少年団と金管バンド部の保護者やPTA役員が、子どもの家や育成会の協力を得て、映画会やキャンプ、縄跳び大会等の各種活動を展開している。これは、普段他の体験活動に参加できないスポーツ少年団に所属している子どもたちにとって、すばらしい学びの場ともなっている。（事例2参照）

《事例 1 2》

事業名（市町村）	小学生スポーツクラブ教室（都賀町）
事業主体（実施機関）	都賀町教育委員会
【事業（施設）の概要及び特色】	
1. 目的 完全学校週5日制に伴い、各小学校区の子ども達が地域の人と一緒に様々な遊びやスポーツ、文化活動を行うことで、自分で考え自発的に行動できる子どもを育成するとともに、地域のつながりや世代間交流を推進する。	
2. 概要及び特色 ・ 毎週土曜日の10:00～11:30に、遊び、スポーツ（レクリエーション）、文化活動全般を行う。また、各自が得意なものを持ち寄って交流したり、各地区にあった取り組みも展開する。 ・ 野球、サッカー、ミニバスケットボールチームに所属していない子ども達にもスポーツに親しんでもらいたいため、子ども達が自主的に参加できるよう、各小学校を会場とした。 ・ 各小学校にプレハブ物置を用意し、ニュースポーツ等の道具を随時用意した。	
3. 取り組みによる効果 ・ 運動をやや苦手とする子どもが集まったが、会場が近場であるため自主的に参加した子どもがほとんどであり、体力が向上し、そのことに喜びや軽スポーツの良さを感じた。 ・ 地域の人々が関わって子ども達を育てていこうという気運が高まった。（小学生スポーツクラブ教室に伴うボランティア組織を準備する動きや、小学校区をエリアとしたクラブ組織設立、自治会単位でのスポーツクラブ教室設立の動きが見られる。） ・ 指導者も、様々なレベルの子どもに接することにより、指導者としての力量が向上した。	
4. 今後の課題 ・ 指導者、スタッフの確保 ・ スポーツ等の指導者と会場全体を把握する指導者、さらには活動に飽きてしまった子ども達へのサポートスタッフの用意 ・ 学校の空き教室の活用の検討	

平成 14 年 10 月 18 日

合戦場地区の皆様

(仮) 合戦場地区ボランティア設立準備会
会長

『合戦場地区遊びクラブの名前大募集』

現在、毎週土曜日に「いつでも、どこでも、だれでも、かんたんに」ということで、午前10時～11時30分まで合戦場小のグラウンドで、子どもたちと楽しく軽スポーツやゲームなどを行っています。

ゆかいで親しみある名前を、合戦場地区の皆様につけて頂きたく募集いたします。

※尚、採用された方とクラブ名は、12月号のつが広報で発表させていただきますぜひご覧下さい。

《しめ切り10月31日》

※このクラブのボランティアも募集します

問い合わせ

TEL

TEL

_____ き _____ り _____ と _____ り _____ せ _____ ん _____

クラブ

学年

組

名前



